

れいわ ねんど

ぶんかがいじゅつしやうれいじぎやう

令和三年度

ひこね子ども文化芸術奨励事業

なつやす

ぶんげい

はいく

ぶもん

夏休み文芸テキスト

【俳句部門】

うち まな

お家で学ぼう！

じぶん ちから くる

自分の力で作ってみよう！

うち

なか

み

『お家の中や身のまわりには

はいく

むこうよう

俳句の材料がいっぱい！』

しゅ

さい

ひこねし

ひこねしきやういんかい

主

催

彦根市・彦根市教育委員会

きやうりよく

ひこねぶんげいきやうかい

協

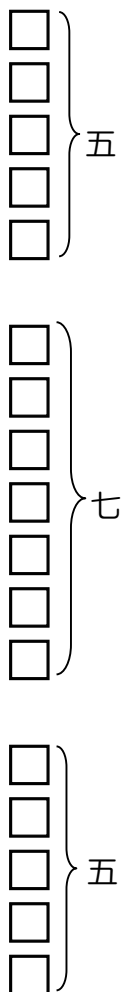
力

彦根文芸協会

はいく きほん やくそく おも だ

1 俳句の基本(約束ごと)を思い出してみよう。

① 俳句の基本は 五 七 五 の十七音です。



② その中に季語を一つ入れます。

・ 一つの俳句に季語は二つ以上使いません。
(季語とは、季節をあらわす言葉です。)

③ 気をつけるところ

・ チューリップの ようにつまって読む小さい
「ッ」「っ」は一音として数えます。

チューリップの チュ や きや きゆ きよ の

ように、小さい「や」「ゆ」「よ」を表す時は、
上の文字と一つにして一音に数えます。

一音	一音	一音	一音	一音
チュ	ー	リ	ッ	プ
			五音	

・ 文字の数でかぞえるのではなく 発音の「音」で
一音二音と数えて 俳句の形の十七音。

または文字にします。

(ひらかな カタカナも同じです。)

2 俳句は、自然の様子や生活などを詠みます。

① 俳句では、作品をつくるための材料を探しに出かけることを「吟行」といいます。

みなさんもどこかへ行く時には、えんぴつと手帖を持っていくといいですね。

② 特別な場所でもなくてもよいのです。

・どこで
何をみつけるか

・どんな様子だったか

（形はどうか？ 色はどうか？ においは？ 声や音は？）



③ 見たものから感じたことを、五七五の十七音と季語を使って表します。

・自分の目・耳・からだなどで感じとることは、見ないで想像していたことよりも、伝わる力は強いのです。

5 お友だちの作品を紹介します。

第十一回 ひこね子ども文芸作品入賞作品集より

(秋の季語)

① うんどうかい リレーいちばん きんめだる (小学一年生)

【運動会の様子が目に浮かぶよい句です。】

(冬の季語)

② マスクして みんな一れつ 学校へ (小学二年生)

【感染予防のため、今は一年中マスクをつけるようになりました。

話もしないで一列に並んで登校するようすがよくわかります。】

(秋の季語)

③ まんげつが ほうせきみたいにかがやくよ (小学三年生)

【澄んで美しい月を「ほうせきみたい」と表現しました。】

(秋の季語)

④ いつの間に 読み終えた本 夜は長し (小学四年生)

【本を夢中で読み終えた秋の夜長の満足感が伝わります。】

(秋の季語)

- ⑤ 秋刀魚焼く けむりがおどる いいにおい (小学五年生)

【「けむりがおどる」の描写がじょうずです。】

(秋の季語)

- ⑥ ひがん花 炎のように 咲きほこる (小学六年生)

【「炎のように」と表現したところが良かったです。】

(夏の季語)

- ⑦ 木の幹に しがみついてる かぶとむし (中学一年生)

【細かいところまで気がついたすばらしい句です。】

(夏の季語)

- ⑧ 入道雲 山の奥から 町覗く (中学三年生)

【だれも見かけれる光景をうまくまとめました。】

(春の季語)

- ⑨ 彦根城 桜吹雪が 宙を舞う (中学三年生)

【「宙を舞う」と表現してより美しく仕上がりました。】

		5
	7	
5		

		5
	7	
5		

		5
	7	
5		

さくひん つく

6 作品を作ってみよう。

じぶん かんが

(自分で考えて作ってみましょう。)

